



ピコインデント

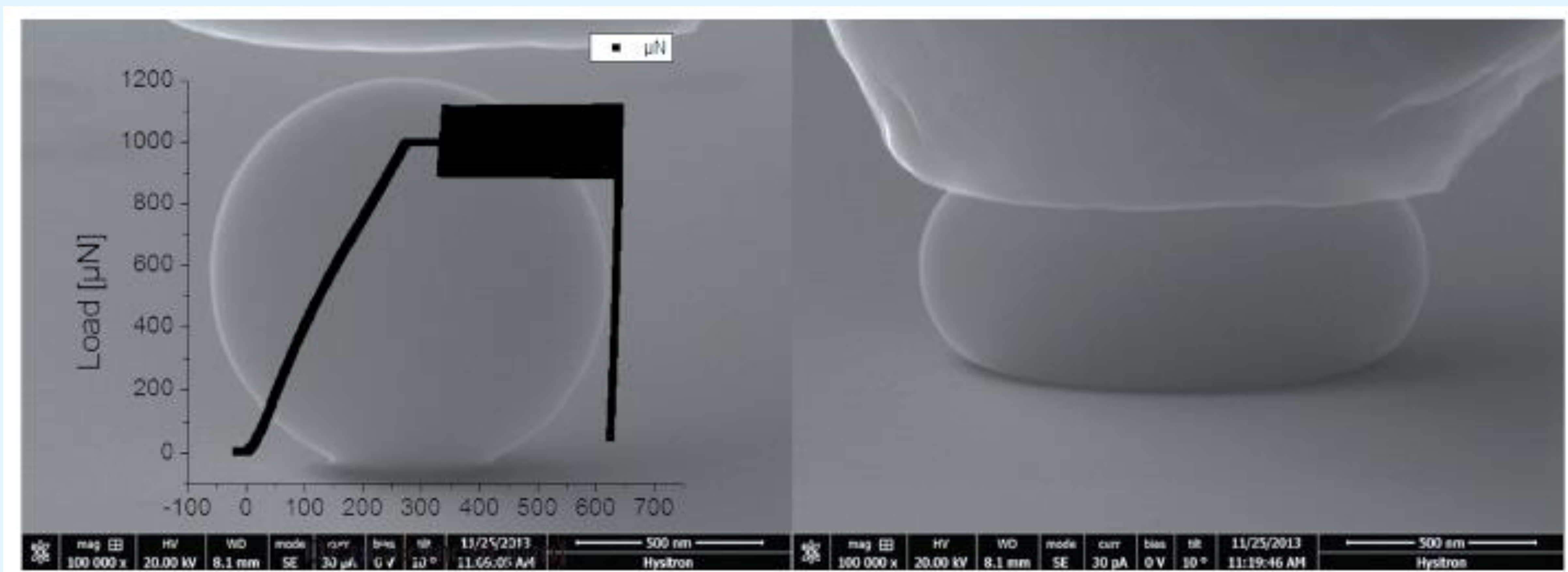
透過電子顕微鏡/走査電子顕微鏡内に搭載できます。鋭くとがったダイヤモンド製の圧子を試料に押し込み、荷重と歪を与えます。

右図はPI 87です。5軸の試料ステージ（X, Y, Z, 回転, 角度）と荷重変位センサーがあり、走査電子顕微鏡に取り付けます。走査電子顕微鏡用搭載アダプターを変更することで、各社のSEMに搭載可能です。



電子顕微鏡内にピコインデントを搭載することで、応力を掛けた際の試料変形をその場観察することが可能です。これまで、応力を掛けた際の試料の変形挙動を観察する装置は応力・歪量の定量計測、応力・歪の定量計測機能を持つ装置は試料の観察部に課題があり、同時に満たす装置が望まれていました。本装置は、ナノインデントーション法で用いられる荷重変位計測機構（圧子の形状も考慮することで、応力・歪に変換）と電子顕微鏡を用いた試料のその場観察機能を用いることで、応力・歪の定量測定とリアルタイム試料観察を同時に満たしました。

さらに、目的に応じて、透過電子顕微鏡用に搭載可能なPI95、走査電子顕微鏡に搭載可能なPI 80シリーズがあります。



応力による試料変形その場観察の画像は、下記のYou Tubeでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=cUDO8ld7iSY>

<https://www.youtube.com/watch?v=oEEGMdqBK94>

2016年10月19日より、電子顕微鏡用ナノインデントーション装置 ピコインデント（Pico Indenter）PI-95 PI-85をはじめとする、PIシリーズの販売、部品供給、メンテナンスサービス、アプリケーション相談を含む、日本国内におけるお客様へ向けたすべての営業活動を弊社が対応することになりました。